

本日ご欠席の委員から頂いたご意見

第7回会合には出席できませんので、以下のような意見を述べさせていただきます。
お取り計らいのほどよろしくお願いします。

1．全体について

すべての意見を総花で集めている感じがします。
7つの領域で、各省がそれぞれの思惑で走りそうなので、全体を統括して施策が有効に行われる仕組みが必要です。
また、以前から気になっている点ですが、国家を経営する視点としての技術開発の考え方、目標数値の設定が重要です。
国民が元気が出るような目標を作らねばと考えます。

2．目標

国民に解るようにするには数値目標が必要と考えます。
漠然とした数値であっても、どれくらいの所を目指しているのか、もう少し明確にした方がよいと思います。
マイルストーンがないと国民にわかりにくいものです。
今回は無理があるにしても、大型プロジェクトで具体的な施策が打たれる時（予算化時）には費用対効果がわかり、評価できるようにお願いします。

例：健康寿命の延伸 → 健康寿命が1 - 2年延伸

3．食糧問題

環境ストレス耐性などの農作物開発が述べられていますが、地球規模の飢餓救済と考えるのか、日本の自給率を上げるためなのか、はたまた両方を狙っているのかスタンスをはっきりさせる必要があります。

4．人材のマッチング

人材不足で人材育成をせねばならぬと書いてありますが、自前主義では国際競争で遅れをとることは明白です。
外人登用などを積極的に進める必要があります。
例えばお台場のJBIRC組織に外人のリーダーがいてもよい時代と考えます。
また、大学でも優秀な外国人を教授として迎えるような提言がなされてもよいと考えます。

5．GMO および先端研究の安全性問題

誰が主体的に科学的に安全性を検証し、広報活動を行うのかははっきりさせるべきです。責任が明確になるようにしなければなりません。
先端技術を扱う場合は漠然とした不安があるものです。FDA的な権威ある組織を作り、対応する必要があるのではないのでしょうか。